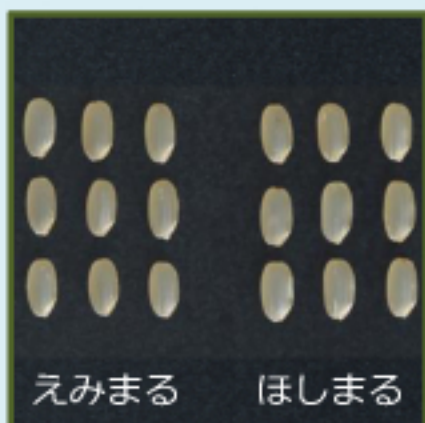
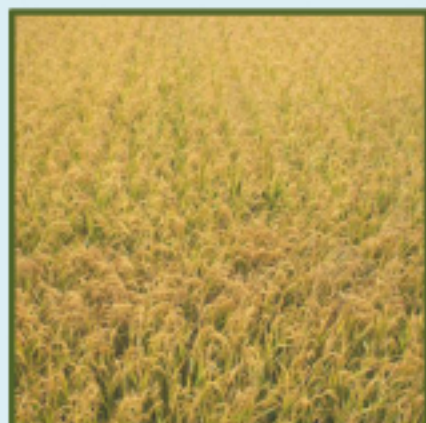


直播栽培 の救世主



「えみまる」で



水張り面積
の確保・
規模拡大を
実現！！

平成31年産「えみまる（上育471号）」栽培技術資料

「えみまる」は直播栽培に適した早生の新品種です。ここでは平成30年度に行った普及展示圃事業の現地試験データに基き、直播栽培のための栽培技術資料をまとめました。「えみまる」の特性を最大限に発揮するように、活用してください。

「えみまる（上育471号）」は「多様なニーズに対応する米品種改良並びに栽培技術早期確立事業」、
「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」の成果として平成30年に北海道の優良品種に認定されました。普及展示圃場の調査データには「イノベーション創出強化研究推進事業」の成果を一部使用しています。

2019年 2月

北海道 / 道総研農業研究本部 / ホクレン / 北集 / 北海道米麦改良協会

「えみまる」の品種特性 (品種提案時の成績書より)

「えみまる」の品種特性を
「ほしまる」と比べて紹介します。



- 低温苗立ち性が優れる
- いもち病に強い
「えみまる」は「ほしまる」より
いもち病圃場抵抗性が強い特性でした。
- 玄米品質が優れる
- 収量がやや多い
- 食味は「ななつぼし」並み

割れ粳がやや多い

このため「えみまる」は病害虫防除
を適正に行うことと、適期の刈取りが
励行されてます。

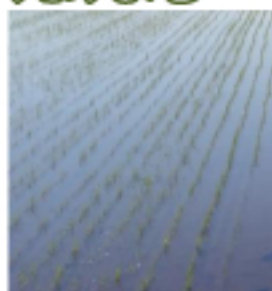
! 草型が偏穂数型です

「えみまる」は草型（生育のパター
ン）が穂数型の「ほしまる」とは異なり
ます。「ほしまる」に比べて、分けつが
出にくく、穂数が少ない反面、一つの穂
が大きい特性です。

! 耐倒伏性は同等です

「えみまる」は「ほしまる」同様に
倒伏に強い品種ではありません。
稈長は「ほしまる」よりやや長いです。

えみまる



ほしまる

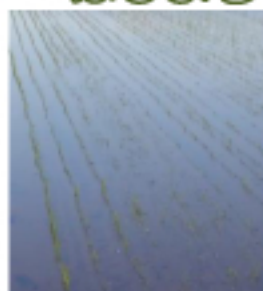


写真 苗立ちの様子
(6月12日、播種後24日目)

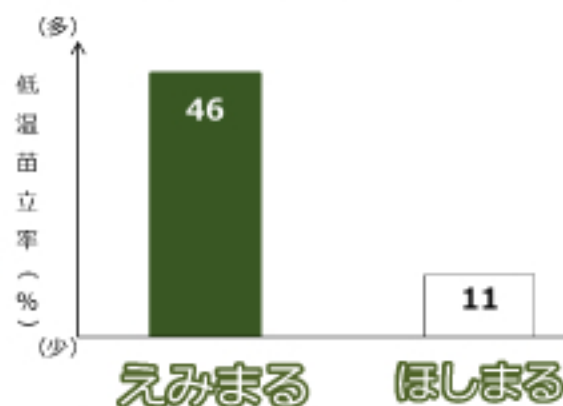


図 低温苗立ち率の比較（室内検定）
(低温条件(13-14℃)での苗立ち率:低温
苗立ち性検定、平成24~29年)



えみまる

ほしまる

写真 玄米の比較
「えみまる」は腹白粒や乳白粒が少ない。

地域	表 直播での収量比較 (kg/a)	
	全箇所	道北道央
えみまる	54.4	57.6
ほしまる	53.4	55.4
ほしまる比	102	104

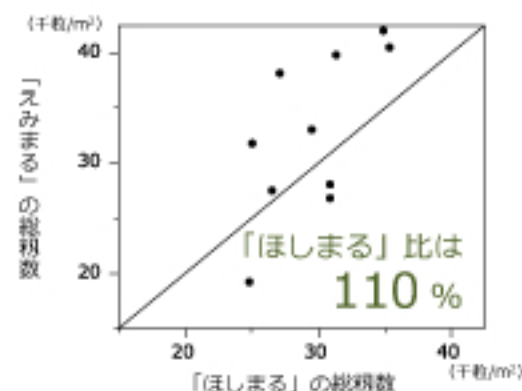
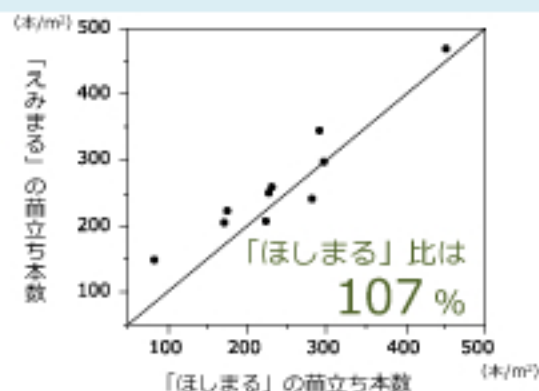
注) 平成27-29、普及見込み地帯の農試と現地の平均値。

平成30年現地試験での直播「えみまる」の結果概要

平成30年の普及展示圃事業の結果から「えみまる」と「ほしまる」を比べます。

- **苗立ちが早い**
「えみまる」は「ほしまる」より1日早く出芽しました。
- **苗立ちが多い**
「えみまる」は「ほしまる」比で苗立ち本数が107%でした。
- △ **分けつが旺盛とは言えません**
「えみまる」は「ほしまる」比で一個体あたりの穂数が85%でした。
- △ **稈長は長め**
「えみまる」は「ほしまる」比で稈長が109%で、約6cm高くなりました。
- **一穂粒数が多い**
「えみまる」は「ほしまる」比で一穂粒数が119%、総粒数が110%でした。
- **今回の試験での収量は？**
「えみまる」は「ほしまる」比で精玄米重が107%でした。

！ 収量を伸ばすには
苗立ちが良い特性を活かして苗立ち本数を確保した後に、分けつを促す管理をしましょう。



えみまる

(「ほしまる」を100とした比(%))

7月1日	茎数	112
	8月1日	
	茎数	98
(mあたり)	穂数	92
	一個体あたり穂数	85
	稈長	109
	一穂粒数	119
	総粒数	110
	千粒重	94
	精玄米重	107
	精白米タンパク質	89

直播「えみまる」の作り方

平成30年の普及展示圃事業の結果から「えみまる」の作り方が見えてきました。

▶ 当面の播種量

慣行と同じ **375 粒/m²** (乾粃で約10kg/10a) を当面の播種量とします。「えみまる」は苗立ちが良好ですが、偏穂数型なので作期中の茎数や穂数を確保するため、播種量は慣行と同じになります。

▶ 播種後の水管理

慣行と同様、湛水直播は速やかな落水が基本です。乾田直播も湛水直播も乾燥しすぎたら、走り水が出芽促進に有効です。

そして、「えみまる」は出芽が**早い**ので、出芽に応じて湛水を早くできます。出芽・湛水の早さを肥効確保や雑草防除などに活かしましょう。

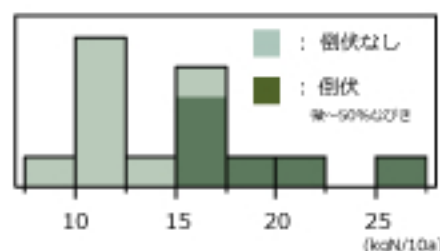
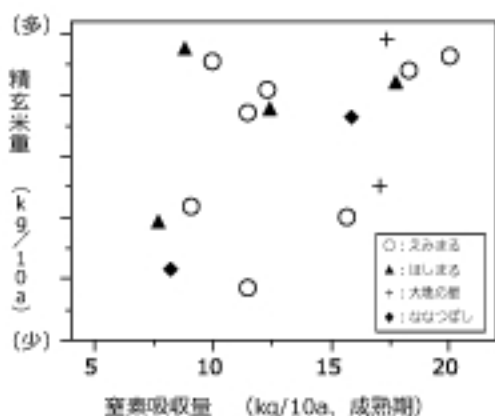
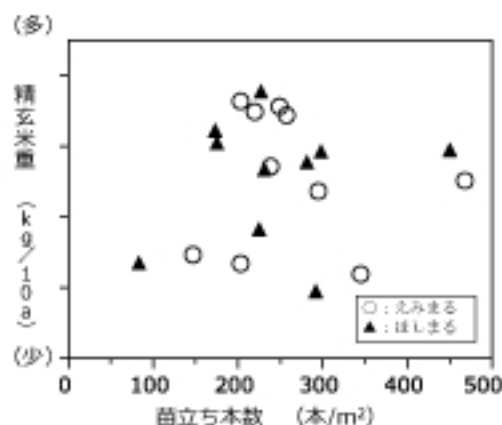
▶ 当面の施肥量

当面は慣行どおりの施肥量になります。窒素を増肥しても、収量は**頭打ち**です。また、稈長が長いので、過度の増肥や追肥は**倒伏**に繋がる恐れがあります。

▶ 栽培管理

「えみまる」はいもち病に強いですが、カメムシ防除は必要です。慣行通りの防除になります。

「えみまる」は倒伏に強い品種ではありません。施肥を適量にすることや中干しの実施が有効です。また、倒伏軽減剤も対策の一つです。



「えみまる」の倒伏と窒素吸収量分布
(横軸が窒素吸収量の区分を、バーの長さがそれぞれの区分の頻度を示す)

「えみまる」向けの詳しい栽培技術は引き続き「多様なニーズ事業」で明らかにしていきます。